

## 事業年度

1月1日～12月31日

## 期末配当金受領株主確定日

12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

6月30日

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

お問合せ先：0120-232-711

## 上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

## 公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内


<http://www.convum.co.jp>

当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

## 妙徳から 株主のみなさまへ

### 第 64 期 事業報告書

2014年1月1日～2014年12月31日

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により  
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第64期（2014年1月1日～2014年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。



代表取締役社長  
伊勢 幸右

退任のご挨拶

このたび、第64期定時株主総会の終了をもちまして、代表取締役社長を退任し、最高顧問に就任いたしました。1998年1月の代表取締役社長就任以来、長きにわたり、株主の皆様より賜りました格別のご支援ご厚情に對しまして厚く御礼申し上げます。

社長就任以来、「ガラス張りの経営」の実践に努め「従業員が安心して働ける職場作り」を目指してまいりました。その結果、2004年10月にはJASDAQ市場上場、2012年12月には完全無借金経営を実現することができました。これもひとえに、株主様はじめステークホルダーの皆様のご指導、ご鞭撻の賜物と感謝いたしております。

このたびは、将来を見据え更なる経営体制の強化のため、経営トップの世代交代を図ることといたしました。後任の代表取締役社長には、伊勢幸治が就任いたしました。新体制での妙徳グループにも、これまで以上の皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

前代表取締役社長  
中森 俊雄

就任のご挨拶

このたび、中森俊雄の後を引き継ぎ代表取締役社長に就任いたしました伊勢幸治でございます。中森前社長が18年間に大きく成長させた妙徳グループの社長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いでございます。

当社は真空機器のパイオニアとして、当社のコンバムが真空発生器（エジェクタ）のブランドとして確固たる地位を確立してまいりました。これもひとえに株主様、お取引先様をはじめとする皆様方のご支援とご協力の賜物と存じます。この事業基盤を引き継ぎ、新たな経営体制の下、原点に立ち帰り「コンバム、パッド NO.1」のスローガンを掲げ、お客様、株主の皆様、更に社会からの信頼に応えるべく全力を尽くし、継続的な企業成長と企業価値の向上を実現させていく所存でございますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## Q1 第64期の業績についてご説明ください。

国内においては、製品開発部門と営業部門を組織統合することにより、多様な顧客ニーズに応える迅速な新製品開発と拡販の体制構築に取り組みました。また、輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界の市場における設備投資需要の改善などもあり、国内売上高は1,331百万円（前年同期比105.6%）となりました。

海外においては、海外子会社の販売拡大が寄与し、連結海外売上高は1,039百万円（同124.5%）となり、海外売上高比率は43.9%となりました。韓国市場では、現地組立用部材の現地調達率の拡大により、コストダウン及び製品供給体制の強化を図り、既存顧客への深耕営業及び新規顧客の開拓を押し進めた結果、売上高は443百万円（同143.7%）となりました。中国市場では、重慶市に営業所を開設するなど販売体制を強化し、特にスマートフォン関連設備向けへの拡販に努めた結果、売上高は253百万円（同141.3%）となりました。東南アジア市場では、タイ国を中心に拡販活動を押し進めた結果、売上高は95百万円（同124.2%）となりました。

この結果、第64期の業績につきましては、連結売上高は2,370百万円（同113.1%）となりました。利益面については、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上原価率が前年同期比2.5ポイント改善したことにより、連結営業利益は374百万円（同109.5%）、連結経常利益は405百万円（同114.6%）、連結当期純利益は234百万円（同104.2%）となりました。

## Q2 今後の経営戦略についてお聞かせください。

当社の製品は生産ラインを自動化する目的で様々な工場で用いられていますが、製造業においては、国内労働人口の減少、合理化による競争力強化の取り組み、海外新興国での人件費高騰など、今後ますます省人化、自動化の需要は拡大していきます。自動化需要の高まりを受け、産業用ロボットの販売、稼働台数も大きく伸張し、その市場は拡大を続けています。

このような環境下、当社はこれまで以上にお客様のニーズに応え、顧客満足度の更なる向上へ注力してまいります。当社の強みである真空機器分野において、マーケティングにも力を入れ、各産業、業種の3年先、5年先の動向を調査し、次世代のコンバム、吸着パッドや搬送デバイスの開発を進めてまいります。また、基本性能向上のための基礎研究の充実、大学などの教育・研究機関との研究開発の連携、デザイナーズプロダクトによる製品シリーズ化を図り、製品付加価値を向上させ売上拡大を目指します。

海外事業については、各国各地域のニーズに合った製品の展開を行ってまいります。中国、韓国の海外現地法人においては、現地組立品目を更に増加し、納期対応力の強化、価格競争力の強化により、引き続き売上高シェアの拡大を図ります。

また、製品単体の販売のみでなく、当社製品と産業用ロボットを組み合わせた生産自動化システムの販売を前期より開始いたしました。産業用ロボット市場の拡大に合わせた事業の展開を目指し、展示会への積極出展を通じて新規案件獲得に努めます。この取り組みと連動し、岩手事業所に更にロボットの導入台数を増やし製造工程の自動化ラインを増設することで、自動化のモデルラインとしてPRを行って

まいります。同時に製造工程を自動化することによる、価格競争力の強化、納期対応力の強化、品質面での強化を目指します。品質面においては、グローバルな品質管理体制の構築に継続して取り組み、引き続き高い品質の維持向上に努めます。

## Q3 今期の見通しについてお聞かせください。

国内市場は自動車業界向け、食品業界向けなど、各業界に特化した製品ラインナップの市場投入及び産業用ロボットを活用した自動化システム事業の営業展開により、売上拡大を図ってまいります。韓国市場においては、ウォン高による輸出競争力低下による需要減退の懸念がありますが、新規市場への営業展開により売上拡大を図ります。中国市場においては引き続き営業体制の強化を行い、拡大する自動化需要の獲得に努めてまいります。

製造面においては、顧客満足度の向上を目標とした納期対応力の強化、工程の自動化による価格競争力の強化、品質の安定化に努めてまいります。

このような取組みの下、今期（2015年1月1日～2015年12月31日）の業績は、連結売上高2,631百万円、連結経常利益421百万円、連結当期純利益262百万円を予定しております。

## Q4 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

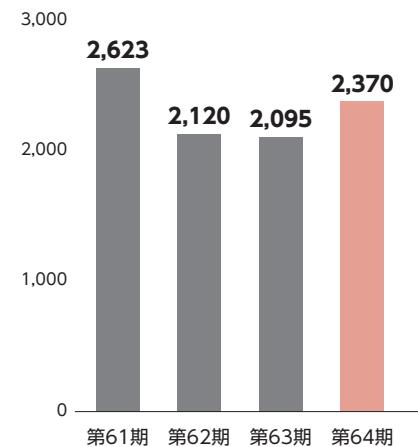
おかげさまで、昨年10月JASDAQ上場10周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、過去からご支持いただいている多くのお客様やお取引先様のご支援あってのことと、心



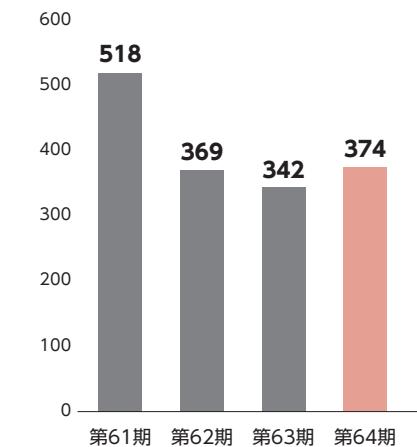
より御礼申し上げます。利益還元につきましては、業績に応じた株主還元を実施することを基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。第64期は、JASDAQ上場10周年を記念し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするべく、第2四半期末配当において1株当たり0円50銭、期末配当において1株当たり0円50銭、年間1円00銭の記念配当を実施させていただくことといたしました。この結果、中間配当を1株当たり5円（普通配当4円50銭、記念配当0円50銭）、期末配当は1株当たり4円（普通配当3円50銭、記念配当0円50銭）とし、合わせて年間9円（普通配当8円00銭、記念配当1円00銭）とさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様のご期待に応えるため、今後とも、持続的な成長、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

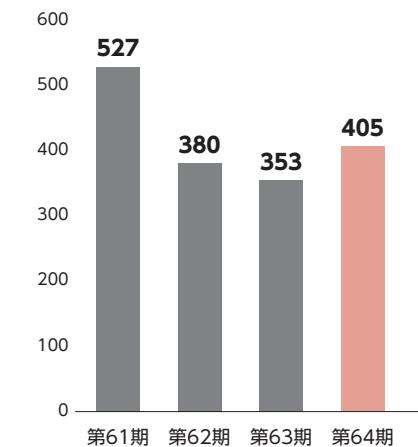
## 連結売上高 (百万円)



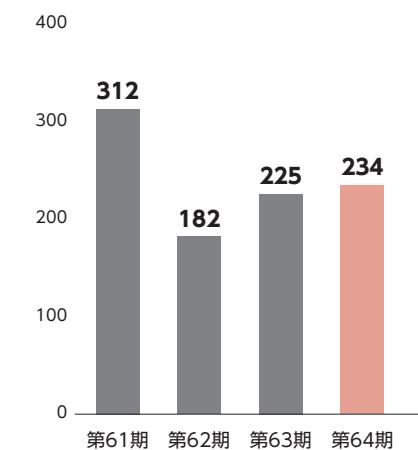
## 連結営業利益 (百万円)



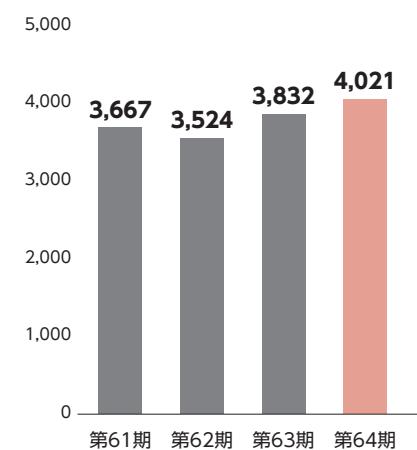
## 連結経常利益 (百万円)



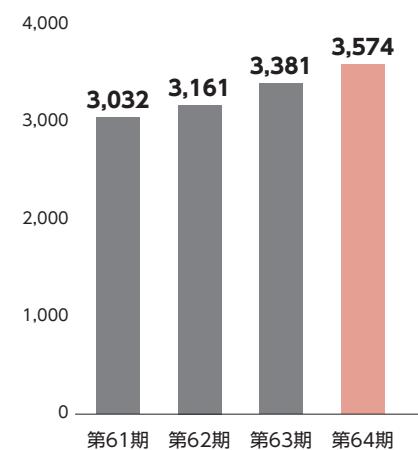
## 連結当期純利益 (百万円)



## 連結総資産 (百万円)



## 連結純資産 (百万円)



## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第63期 2013年12月31日現在	第64期 2014年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,524,159	1,735,814
固定資産	2,307,976	2,286,146
資産合計	3,832,135	4,021,961
<b>負債の部</b>		
流動負債	304,442	322,108
固定負債	145,970	125,255
負債合計	450,412	447,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,293,062	3,443,437
その他の包括利益累計額	69,312	109,439
新株予約権	13,818	11,734
少数株主持分	5,529	9,985
純資産合計	3,381,722	3,574,597
負債及び純資産合計	3,832,135	4,021,961

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第63期 2013年1月1日～ 2013年12月31日	第64期 2014年1月1日～ 2014年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,435	282,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,694	△278,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,529	△84,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,077	13,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	218,288	△68,227
現金及び現金同等物の期首残高	474,901	693,189
現金及び現金同等物の期末残高	693,189	624,962

## 連結損益計算書

(単位：千円)

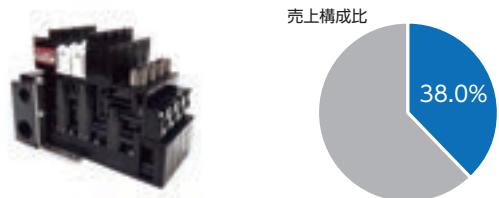
科目	第63期 2013年1月1日～ 2013年12月31日	第64期 2014年1月1日～ 2014年12月31日
売上高	2,095,897	2,370,975
売上総利益	1,130,982	1,338,482
営業利益	342,494	374,908
経常利益	353,526	405,167
税金等調整前当期純利益	356,675	406,484
少数株主損益調整前当期純利益	227,657	238,209
少数株主利益	2,218	3,363
当期純利益	225,439	234,845

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第63期 2013年1月1日～ 2013年12月31日	第64期 2014年1月1日～ 2014年12月31日
少数株主損益調整前当期純利益	227,657	238,209
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	14,087	2,060
為替換算調整勘定	59,472	38,067
その他の包括利益合計	73,559	40,127
包括利益	301,217	278,337
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	298,999	273,880
少数株主に係る包括利益	2,218	4,456

## コンバム 売上高 9億1百万円



主要顧客業種である、半導体製造装置業界及び液晶パネル関連業界の需要に改善が見られ、スマートフォン関連装置需要獲得等の取組みに努めた結果、当期の連結売上高は901百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は38.0%となり、前年同期比3.3ポイント上昇いたしました。

## 圧力センサ 売上高 1億9千7百万円



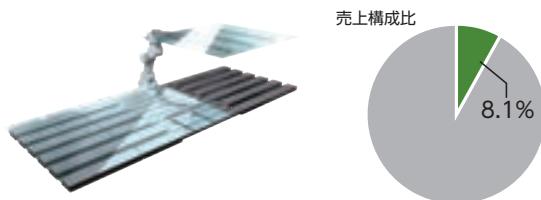
コンバム同様、半導体製造装置業界が主要顧客業種であることから需要に改善が見られましたが、一部大口顧客での需要低迷により、当期の連結売上高は197百万円となりました。また、売上高構成比は8.3%となり、前年同期比2.1ポイント低下いたしました。

## 吸着パッド 売上高 10億8千万円



最終ユーザーの機械稼働率の向上によるメンテナンス需要の改善等により、当期の連結売上高は1,080百万円となりました。売上高構成比は、コンバムの売上高構成比が上昇したことにより45.6%となり、前年同期比1.2ポイント低下いたしました。

## FA機器その他 売上高 1億9千1百万円



空気圧機器及び真空ポンプ等の一般設備機器は、他の製品群同様、需要に改善が見られ、また、エア浮上ユニット（CONFLOAT）は液晶パネル関連業界の需要獲得に取組み、当期の連結売上高は191百万円となりました。売上高構成比は前年同期同様8.1%となりました。

## トピックス1 新製品のご紹介

### マルチファンクションコンバム「SC3シリーズ」



新型コンバム「SC3シリーズ」は、本体、フィルタ、圧力センサをお客様の仕様に合わせて、自由に選択、組み合わせることができます。また、封止弁を搭載することにより、迅速で確実なワーク（吸着対象物）の離脱を可能にします。

### 多段じゃばら吸着パッド「PLシリーズ」



本製品は、従来の2段、3段じゃばらタイプの吸着パッドに比べクッション性がアップし、凹凸のあるワークの吸着搬送にご使用いただけます。また、ワークに応じて吸着パッドゴムの材質硬度を40度、55度の2種類から選択ができます。

## トピックス2 アジア各地の展示会に参加

アジア各国での事業拡大を戦略に掲げ、グループ各社で積極的に出展してまいりました。各国市場でのコンバムブランドの認知度向上、売上シェアの拡大を図るため、今後もより一層、当社の製品と技術を紹介する機会を設け、積極的な営業活動を行ってまいります。



KOREA PACK 2014  
韓国・ソウル  
2014年6月10日～13日



PTC ASIA 2014  
中国・上海  
2014年10月27日～30日



TOKYO PACK 2014  
東京・東京ビッグサイト  
2014年10月7日～10日

## トピックス3 産業用ロボットを活用した自動化システムの販売

製品単体の販売のみでなく、当社製品と産業用ロボットを活用した生産自動化システムの販売を前期より開始し、2014年10月には包装資材・容器、包装機械の国際的な大規模展示会TOKYO PACK 2014に、菓子の梱包・搬送ラインをイメージしたデモ機を出展いたしました（写真）。ご来場の多くの皆様から大きな反響をよび、様々なご要望やご相談をいただきました。

また、当社岩手事業所において実際に当社製品を製造しているロボット自動化ラインをお客様にご見学いただくことにより、個々のお客様のニーズに応じた具体的なご提案を行い、受注をいただいております。

今期は、モデルとなる自動化ラインを更に増設し、また、積極的に大規模展示会に出展することによって、自動化システム事業の認知度の向上を図り、事業の早期確立を目指してまいります。



## トピックス4 中国重慶に営業所を開設

中国現地法人の妙徳空霸陸機械設備（上海）有限公司は、中国市場における売上の拡大に向けて、重慶市に新たな販売拠点を開設いたしました。重慶市は、中国の四大直轄市の一つで、中国南西地域における大工業都市として、上海および武漢などの都市とともに、長江流域の経済発展を牽引する役割を果たしています。近年では、自動車、ノートパソコンにおいて世界有数の生産規模となり、日系企業の間でも沿岸部からの生産移転や生産拡大の動きが顕在化しつつあります。自動化需要の高まる中国市場において、ブランド認知度の向上と、更なる販売体制の強化に取り組んでまいります。



## トピックス5 ホームページをリニューアル

ホームページを全面刷新し、2014年7月にリニューアルオープンいたしました。新サイト（<http://www.convum.co.jp>）は、よりわかりやすい、より使いやすいホームページを目指し、ページ構成やサイトデザインを全面的に見直し、タブレット、スマートフォンからの表示も見やすくいたしました。

日本語、英語ページに続き、韓国語、中国語、タイ語ページをオープンし、5ヶ国語対応としています。

今後とも、製品図面（2D CAD、3D CAD）データの拡充、アプリケーション事例の掲載など、内容の充実を図ってまいります。



(2014年12月31日現在)

## 会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
営業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空霸陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 コンバム（タイランド）株式会社
従業員数	104名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

## 役員の状況 (2015年3月19日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	岩淵 敏彦
取締役	佐藤 穰
常勤監査役	泉 陽一
監査役	松本 博之
監査役	川野上 一春

## 株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
33,000,000株	8,285,000株 (その内自己株式 856,125株)	1,244名 (前期末比10名増)

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢 養治	1,365,825	18.39
伊勢 すが子	630,100	8.48
伊勢 幸治	412,050	5.55
妙徳従業員持株会	241,250	3.25
中森 俊雄	208,000	2.80
株式会社日伝	140,000	1.88
株式会社新居浜鉄工所	130,000	1.75
伊勢 三郎	126,500	1.70
泉 真紀	122,500	1.65
神谷 信一	119,000	1.60

## 株価チャート

